

2014年度 前期		リフレクションペーパー						
学科名	電気通信工学科							
科目名	進路指導論							
科目区分	教職科目	単位数	2	開講時期	前期			
必修・選択の別	教職必修							
担当者	岡野亜希子							
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生の実態や高校教育現場の抱える問題について、理解し、説明できる。</li> <li>・高等学校の進路指導の役割や内容について、その大要を理解し、説明できる。</li> <li>・高等学校の進路指導の具体的方法について理解し、説明できる。</li> <li>・高等学校の生徒指導の具体的問題について理解し、その指導法を実践できる。</li> </ul>							
日程と内容	第1回 オリエンテーション：授業の概要、成績評価について 第2回 高校生と高校教育の現状 第3回 高校生の進路を取り巻く問題 第4回 進路指導の役割と内容 第5回 進路指導の実態 第6回 進路指導に関する演習 その1 第7回 進路指導に関する演習 その2 第8回 進路指導に関する演習 その3 第9回 生徒理解の方法と技術 第10回 学校教育相談について 第11回 学校進路相談について 第12回 生徒指導の具体的方法に関する演習 その1 第13回 生徒指導の具体的方法に関する演習 その2 第14回 生徒指導の具体的方法に関する演習 その3 第15回 まとめ 定期試験							
成績評価基準	定期試験	50%	実技	0%	臨時試験	0%	部外評価	0%
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	50%	課題	0%		
	演習	0%	計	100%				
授業到達目標の達成度	おおむね次の点から進路指導論の当初の目標を達成したとみることができる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の教育課程において、生徒指導や進路指導をはじめとしたキャリア教育が果たしている役割について理解できる。</li> <li>・近年のキャリア教育政策の方向性と労働市場との関係について理解できる。</li> <li>・生活指導の具体的な場面について考え、指導の計画を立てることができる。</li> </ul>							
反省点	昨年度の課題であった、十分な模擬授業の時間の確保をどうするかという問題については、グループ発表とするのではなく、事前指導にける時間を短縮することで時間の確保を試みた。そのため昨年度よりもあわただしい授業となったが、その分、一人あたりの模擬授業実施時間と指導時間を長めにとることができた。次年度も引き続きこのやり方で進めるかどうか、検討中である。							
来年度の計画	模擬授業自体はおおむね好評だったので、次年度も実施したい。							
授業評価アンケートに対するコメント	反省点と来年度の計画に書いた通り。記述内容は来年の参考にしたい。							
履修登録者数	38名	定期試験 受験者数	35名	合格者数	35名	合格率	100%	